

ればならないと思われた。そこでシギゾウムシ幼虫が脱出した後、ドングリを切断して内部を確認したが、残念ながら寄生蜂の幼虫・蛹等は見られなかった。

産卵が不備に終わっていたためか、寄生蜂の生活史が筆者の想定と異なっているためかは不明であるが、いずれにしても得がたい機会であった。

兵庫県ハチ北高原でのフジキオビの記録

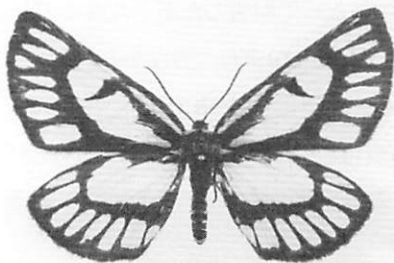
岡本 俊治

筆者は兵庫県香美町のハチ北高原でフジキオビを採集しているので報告しておく。

1♀, 兵庫県美方郡香美町村岡区ハチ北高原,
9.VI.2005, 筆者採集

当日の天候は晴れ。昼食後、「たたらキャンプ場」から「昇竜の滝」に通じる登山道の入り口付近を歩いていると、樹林帯の中ではあるが比較的開けた明るい空間をひらひら飛ぶ本種を発見。蝶では思い浮かぶ色彩では無かったのでシャクガかなと思いつきながらネットインした。採集地の標高は約770mである。

末筆ながら、ご教示いただき、発表をお勧めいただいた兵庫県立人と自然の博物館の八木剛先生にお礼申し上げる。



兵庫県宍粟市赤西溪谷でフジキオビを採集

占部晋一郎・占部智史

フジキオビ *Schistomitra funeralis* (アゲハモドキガ科) は、黒の地色にクリーム色の大きな模様が特徴の翅をもつ美しい蛾である。本種は1属1種で、関東地方以西と四国に分布する。これまで、兵庫県では「氷ノ山」で採集

されたという古く曖昧な記録しかなかったので、ここに報告する。

1♀ 兵庫県宍粟市波賀町原赤西溪谷
(標高約550m) 27.V.2007.

カミキリムシの類を採集するため、白い花(種名不明)をスイーピングした後、車に帰る時にウスバシロチョウのようにひらひらと舞う鱗翅目の昆虫を発見した。採集してみるとそれが、本種フジキオビであることが判明した。

本種は兵庫県での公式な記録は「氷ノ山」のみとなっているが、実際は「ハチ北高原」で採集されている(本誌)。また「蘇武岳」でも目撃記録がある(高島昭氏のご教示による)など、実際は西播北部から但馬にかけての山地帯に少ないながら比較的広く分布していると思われる。

この短報を作成するにあたって、高島昭氏、八木剛氏にご協力いただいた。お礼申し上げます。

マダラキボシキリガ ハチ北高原で記録

吉田 武

2004年度兵庫県立人と自然博物館、八木セミナーのハチ北高原昆虫調査において、マダラキボシキリガ (*Dimorphicosmia variegata*) を採集しているので、そのデータをここに報告する。

マダラキボシキリガ 1♀

採集日: 25.IX.2004 at light

採集地: 兵庫県美方郡村岡町ハチ北高原大笹

小沼付近 (134.32.24E, 35.24.15N alt. 875m)

採集者: 吉田貴大(採集者は筆者の中学2年の孫です。)

本種は冷温帯性の蛾で、北海道から中部以北の山地で時々見られるが、西南日本では、四国の剣山、九州山地で少数の記録があるだけで、高島昭氏はかねてきべりはむし30(2):43において、氷ノ山周辺、但馬の1,000m級の山地での生息の可能性を予測しておられた。今回その後の兵庫県内の記録についてのご教示、及び初記録ゆえの発表をお勧めいただいた同氏に深くお礼申し上げます。